

令和8年3月23日

太田輝見（共同代表）

徳永純一郎（共同代表）

『お手伝い西紅陽台』解散のお知らせ

西紅陽台にお住いの自治会員で高齢者・身体の不自由な方の皆様にご利用して頂くために組織“お手伝い西紅陽台”を発足させ令和2年10月に活動を開始してから5年半が経過しました。この間、活動を効率的に実施できるよう切山基金助成金を活用して必要な器具・工具等を徐々に増やしながらかつ様々な依頼案件に対応してきました。

これまでの活動実績（依頼の対応件数、投入延べ人数）は以下のとおりで、依頼案件としては庭木の剪定・伐採、庭の草取りが大多数で、家具やドアの修理なども比較的多くありました。また、リピーターの方も結構おられました。

R2年度：15件（36人） R3年度：15件（45人） R4年度：18件（59人）

R5年度：13件（37人） R6年度：13件（19人） R7年度：9件（22人）

組織発足時にはメンバー全員が皆さんのお役に立ちたいという志を持って集まってきましたが高齢者が多かったこともあり寄る年波には勝てず、年を追うごとに動員を掛けられる人数が減少していきました。

庭木の剪定や伐採は、相当の専門知識を有することが必須で担当できる人は限られており、しかも高所作業のため高齢者にとってはかなり危険を伴うケースが多々ありました。また、庭の草取りは、中腰で長時間作業を行う必要があることから高齢者にとってはかなりの身体的負担となる状況でした。

以上のようにメンバーの高齢化や作業者の減少が進んだため、相対的に高所作業に伴う危険度の上昇、また作業の少人数化による一人当たりの作業の長時間化という問題が顕在化してきました。

そのため、依頼案件に十分対応できる態勢を維持することが難しくなり、残念ではありますが今年度末で解散することとしました。

これまでの5年半を振り返ると、この活動を通してこの広い団地内で見ず知らずだった依頼者と知り合いになるとともに作業後感謝の言葉を頂きそれが皆の励みになったこと、また同じ志を持った組織のメンバーと一緒に汗をかき仲良くなれたことなど、この組織がなければ出来なかったいろいろ貴重な経験をさせて頂きました。

このような素晴らしい機会を与えて下さった西紅陽台自治会および依頼者の皆様には感謝しかありません。誠に有難うございました。

以上